

キャラクター名  
黒崎 未央 {クロサキ・ミオ}

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	FHEージェントA	カヴァー	夕日の風来坊
	エンジェルハロウ					
オプション			年齢	17	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	飢餓	初期侵食率	45	%
出自	姉妹	経験	喪失	邂逅	欲望	超越

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	3	1	0			4	行動値	7
感覚	3		0			3	(非装備時)	7
精神	1		0			1	戦闘移動	12
社会	1		0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
オープンダークカリバー	白兵	4r-2	5	8		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
デモンズシード	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者: オープンダークカリバー	P	N		
ケバブ	P	N		
姉「黒崎 直美」	P 執着	N 嫌悪		
自分と姉を比べ続けた周囲	P 憧憬	N 憎悪		
--シナリオ:	P 意味不明	N 不信感		
小鳥遊	P 執着	N 劣等感		
--碓井	P 庇護	N 憎悪		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
シャッフル	1	4D	オート	至近	自身	自動	120	
効果:	単体攻撃を別の対象に変更							
フルパワーアタック	3	4	セット	至近	自身	自動	80	
効果:	攻撃力+*5 行動値が0に							
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	【肉体】+Lv+2D 素手以外使用不可							
知性ある獣	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	完全獣化中アイテム使用可能							
ハンティングスタイル	3	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	戦闘移動 離脱可能							
セントールの脚	2	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	シーン間 移動距離+Lv*5m							
襲撃迷彩	3	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	獣化中、メイン終了まで隠密状態							
究極獣化	4	4D10	マイナー	至近	自身	自動	120	
効果:	攻撃力+LvD 装甲値+10							
C:キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	シンドロ	-	
効果:	CL値-Lv (下限7)							
血に飢えた跳躍	1	4	メジャー	武器	単体	白兵	リミット	
効果:	攻撃力+Lv*3 隠密時判定+2D							
見えざる死神	3	2	メジャー	武器	-	白、射	-	
効果:	攻撃力+Lv*3、判定+1D 隠密時のみ							
神獣撃	4	2	メジャー	武器	単体	白兵	80	
効果:	攻撃力+Lv+2D 獣化解除							
飛礫	2	2	メジャー	20m	単体	白兵	-	
効果:	攻撃力+4 射程20mになる							

一人称 : 私  
二人称 : 君、お前  
好きな物 : 黒色、黒いもの、食肉  
嫌いな物 : 姉、自分

至って平凡な家庭に生まれて来た少女。  
普段は仕事や学校にも行かず、ただ街を歩き回って食事を摂ったり昼寝をしていたりする自称「風来坊」。主に食べることに関心が強い。食えることが好きになってから、空腹になると機嫌が悪くなるようになった。  
学校に行っていないため、「ノワール」「ブラック」「シュバルツ」しか外来語が理解できない。  
あまり表情が豊かではなく、基本不愛想だが心の底から喜んだり悲しんだりするとようやく表情が動く。  
同年齢の姉が居り、生まれつき出来の良かった姉と至って平凡な自分は周囲から常に比べられてきた。  
「なぜ姉にできてお前にできないのか」「お前は姉の劣化コピーだ」「実は他所の子供なんじゃないか」  
そんな言葉を吐いてくる周囲が嫌いで仕方が無かったが、姉だけはいつも優しく接してくれていた。  
しかし周囲の声の方が大きく心に負担がかかってしまい、姉にも次第に恨みを抱くようになってしまった。

ある日、姉は深夜、頻繁にどこかへ出かけるようになり、行き先を聞いてもはぐらかされるか返答が無かった。  
未央は姉に一抹の不信感を抱き、ついに後をつけて姉の秘密を探ることにした。  
後を付けていくと姉の行方を見失い、辺りを見回しているところ世のものと思えない怪物に襲われる。  
怪物の攻撃を受ける寸前だった所を突如現れた銀色の戦士に庇われる。  
未央は恐怖と驚きで腰が抜けてしまい、身動きが出来ずにいた。  
そんな未央を庇いながら戦っているうちに戦士は怪物の攻撃を受け、致命傷を負ってしまう  
その傷によって戦士の姿は姉に戻り、地面に倒れ込んでしまう。

